



## インドで結婚式に参加してみた (その2)

### 1. はじめに

前号で御紹介したように、インド人は、数日にわたって結婚式を行います。各式の位置付けはそれぞれ異なります。初日は、友人と踊り明かすダンスパーティ。日本で言う「二次会」に近いものでした。2日目は、家族との会食。所謂、親族顔合わせです。そして、最終日（3日目）は、披露宴でした。

### 2. 結婚式最終日

最終日の結婚式は3日間の式の中でも出席者が最も多く、会場も最大級。そのスケールは日本の比ではありません。

まず出席者がとにかく多い。新郎によれば、600人以上を招待していたとの事ですが実際は600人以上いたと思います。

次に、会場。ホテルの中庭（屋外）で行われたのですが、この中庭が巨大です（写真1）。実寸は定かではありませんが、野球のグラウンド1面分はゆうにあったと思います。しかも、中庭だけでなく、部屋も含めて、新郎新婦がホテル全体を貸し切っていました。ちなみに、富裕層の中には、結婚式に先立ち、ホテルを建設する人もいるとか。

日本と違って受付はありません。私は招待

状を受け取っていましたが、招待状を提示することもなく、芳名帳に記名することもなく、ご祝儀を渡すこともありませんでした。ホテルの中庭なので、入口もあってないようなもの。招かれざる客が混じっていても不思議ではありません。むしろ、誰でもウェルカムだったのかもしれません。

### 3. 式次第

#### (1) インド時間

インド時間は最終日も健在でした。前号で紹介したように、インドでは招待状に記載された開始時間は意味をなしません。招待状に記載されていた開始時間「18:30」から少し余裕を持って会場に入ったものの、パーティがスタートしたのは21:00頃。その間、会場の準備が整うのを待つため、控室でアルコールを飲んで過ごしました。しかし、新郎新婦は待てど暮らせど登場しません。22:00を過ぎてようやく新郎が到着します。そこから新婦の到着は、日付けが変わる直前まで待たなくてはなりません。日曜日だったこともあり、翌日に仕事を抱える大半の招待客は、新婦の晴れ姿を見ることなく帰路についていました。

#### (2) 入場パレード

新郎の入場はなんと馬車。実は会場に到着したときに大量の花で着飾った荷台と、その横で草を貪る馬を見かけたのですが（写真2）、それが新郎の馬車だったのです。



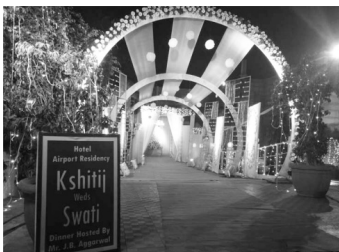
(写真1) 最終日の会場の様子



(写真2) 出番を待つ馬車

会場前の道は、赤絨毯や花で装飾されました(写真3)。距離にしておよそ50m程。この赤絨毯の上を、パレードのように新郎が入場してきました(写真4)。

新郎を先導するのは、太鼓隊。そして、その太鼓隊を取り囲んで踊る招待客。太鼓のリズムもダンスも独特のものでしたが、それよりも、その遅々として進まないスピードに驚かされました。50mの赤絨毯(会場までの道のり)を進むのに、実に1時間近くかけたのです。18:30に会場に入ってから、既に3時間近くが経過していた私の気持ちを萎えさせるには十分な時間でした。



(写真3) 会場前の道



(写真4) 馬車で入場する新郎

### (3) パーティ開始～フィナーレ

新婦が到着する頃には、招待客も食事を一通り終えて、フリータイムに入っています。新郎新婦はやはり人気。お祝いの品を渡す人、一緒に写真を撮る人で新郎新婦の周りにはごった返していました。

私が出席した式は2月に行われたのですが、2月の夜となると半袖ではいられない程の気温になります。寒さに耐え切れず日付が変わった頃に、私は他の日本人客と一緒にホテルへ戻りました。特にタイムテーブルもないので、流れ解散です。

後で知ったのですが、新郎新婦にとっての一大イベントは、私が帰路についた後にありました。インドでは、新郎新婦が小さな火を炊いて、その前で結婚の誓いを立てるという風習があります。大半の招待客が帰った午前3:00頃、ヒンドゥーの伝統に習った儀式が、彼らの結婚式のグランドフィナーレだったそうです。

### 4. むすび

インドの結婚式は、日本と比べてスケールが違いました。3日間にわたって行われ、最終日のスケールには目を見張るものがありました。一方、結婚式でもインド時間は守られていました。招待客も、時間のルーズさを共有しているので、新郎新婦が来ようと来まいと、各々でパーティを楽しんでいました。このルーズさ、自由さ、そしてなによりスケールこそが、インドなんですね。

#### 編集者

#### 木本大介(きもと・だいすけ)

日本弁理士、GIP東京所属。1977年神奈川県生まれ。専門は通信、電気、ソフトウェア。2005年弁理士試験合格。企業知財部3年、特許事務所7年の経験を経て2013年7月より現職。

<http://www.giplaw-tokyo.co.jp/jp/>